

No.5 第2741回 令和4年8月8日

今週の歌:我等の生業

プログラム

阪上栄樹ガバナー公式訪問

会長 大西義文 幹事 村上康憲
 例会日 月曜日 12:30-13:30
 例会場 西脇ロイヤルホテル 2F Tel:0795(23)2000
 事務局 西脇商工会議所内
 〒677-0015 西脇市西脇 990
 Tel:0795(22)3901 Fax:0795(22)8739

RI テーマ : イマジン ローター ~IMAGINE ROTARY~

7月25日(月)第2740回 ZOOM 例会記録

◎出席・・・会員数 45 名 (出席免除会員 8 名)

出席 34 名 欠席 11 名

会長の時間

大西義文会長

夏を彩るお祭り等が各地で3年ぶりの開催・・・を耳にする一方で、コロナの感染は歯止めの効かない状況です。そのため、本日の例会はリモートでの開催といたしました。

そんな中、今年はデジタル化も活動方針に組み入れさせて頂いたうえで、デジタル化の勉強会という解釈でご理解いただければ幸いです。

全くのアナログである私としましても、今後はデジタル化を実行していくべきであると考えております。例会に於けるプロジェクターのデジタル化、出席委員会によるバーコードによる出席カウント、公共イメージ委員会によるデジタル勉強会、西脇ロータリークラブのホームページも更新して頂いております。私自身デジタル化に少しでも楽しみやおもしろさを感じられれば、益々便利で効率化に繋がっていくのでしょうか？



西脇市からのお願い

○片山象三西脇市長より、マイナンバーカード訪問申請サービスのご案内がありました。西脇市はマイナンバーカードの申請をされている方が少ないということで、まだ申請されていない方は、このようなサービスを利用して申請してくださいとのことでした。

幹事報告

(来信)

○ガバナー事務所より、

・2022-23 年度ガバナー月信への掲載原稿(クラブ PR)のお願い

・米山カウンセラー・奨学生合同ミーティングのご案内

9月10日(土) 14:00~17:00

於:三宮研修センター

・米山月間(10月)の行事について

・ロータリー財団月間卓話~世界でよいことをするためのポリオプラス・ロータリーカード・資金推進の合同寄付促進プロジェクト~

○RI 日本事務局より、財団室 NEWS

○ロータリーの友事務所より、新型コロナウイルス感染症に関する友事務所の対応

ニコニコ箱

藤本会員 皆様のご協力のおかげで、ガバナー補佐の務めを無事終えることができました。ありがとうございました。

※本日のニコニコ 10,000 円

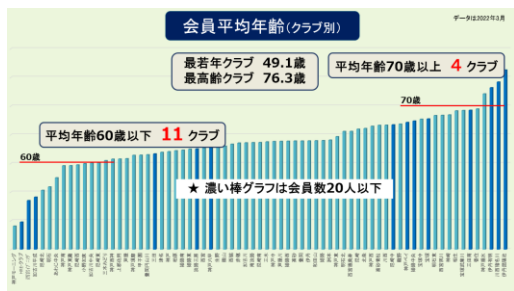
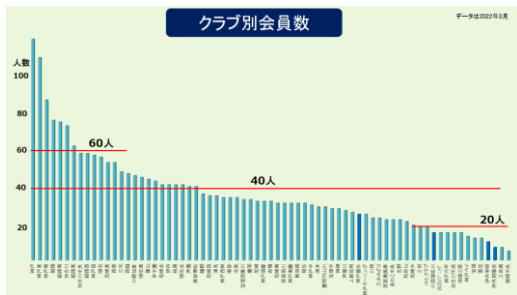
※本年度累計額 (8/1 現在) 152,000 円

プログラム

「卓話」 笹倉照暉会員

本日は、4月29日に開催されました地区の会員増強セミナーの資料を使って、2680地区クラブの会員数の状況など説明させていただきます。





オープン例会成功のための 10のヒント

会員増強に本気になること。 覚悟を持つこと。
愛をこめて、丁寧に接すること。 できることは、全てやること。
人任せでは仲間は増えません。

【事前】

1. 丁寧に招待
 - 紹介者が口頭で例会情報を伝えるだけでなく 招待状を送りつける
 - 「会員(入会)候補者」という表現は使わないように注意する
 - 会員候補者だけでなく、元会員や学友にも声をかける。
 - 過去に入会のお話をした方や、以前オープン例会に参加し、その時には入会に至らなかった方も再度お誘いする(オープン例会に2回参加して、入会を決めた方もいらっしゃいます)。
2. ゲストへの穏やかな気遣い
 - ゲストのお名前や職業を事前に会員に周知する
 - 年齢、職業、出身地、お住まい、趣味などが分かる場合には、当日の座席決めにいかにアレルギーがある場合は食事に配慮する

<ロータリーボイスより>

1. 「法人会員」を導入:7月から導入した法人会員制度では、一つの法人から数名の会員が例会に出席できます。当クラブでは、ロータリーのガイドラインを参考にして、一つの法人から主要会員が1名、その会員が出席できない場合に代替りの人が出席できる、というモデルを採用しました。これによって、従来は入会しないような人も入会することになったのです。地元には大手企業数社の本社があり、法人会員によってクラブの会員層が厚くなっただけでなく、さまざまな企業の関心を引き、ロータリーのイメージ転換のきっかけにもなりました。

2. 女性と若い職業人の入会を促す:「高齢男性のクラブ」というイメージを払拭するのが狙いでした。女性会員と若い会員にプロジェクトを担当してもらい、地域社会の目に留まるようにすることで、これらの会員が地域社会での「大使」となりました。クラブに若い会員や女性会員がいることを見てもらえれば、入会への関心が高まるだけでなく、クラブの奉仕活

動にも注目が集まります。13人の新会員のうち、6人が女性です。

3. オンラインの入会申込書を作成:オンラインで簡単に入力できます。

4. 認知度向上につながる奉仕プロジェクトを実施:人助けのための奉仕活動に関心がある人たちの注目を引くことができました。今年は、年末に街角に立って募金を行い、会員とその家族など大勢が参加しました。街角に立っていると、関心をもった人たちが寄ってきて、「どうしたらロータリーに入会できるの?」と聞いてきます。集めた資金のほとんどは、団体の管理費や人件費ではなく、恵まれない人たちを助けるために活用されます。また募金に参加した人たちは皆、とても充実した経験だったと口をそろえます。人助けの大切さを子どもに教えたいと、子ども連れで参加する人もいます。つい先日、クラブの奉仕活動が称えられ、地元商工会議所から「NPO オブ・ザ・イヤー」を受賞することができました。

5. ソーシャルメディアで会員を紹介:ロータリアンではない人たちにも活動を知ってもらい、仲間になりたいと感じてもらうため、ソーシャルメディアを活用しました。毎週、会員1名をピックアップしてその人のプロフィールを紹介し、ロータリー会員の素顔を見てもらいました。また、例会の様子をフェイスブックに投稿したり、募金活動の写真を投稿して支援を呼びかけました。こうした努力によって、「ロータリー」という言葉が多くの人びとの目に留まりました。

6. さまざまな例会オプションを提供:対面式の例会に直接出席できない人は、Zoomで出席できるようにしました。また、保健局のガイドラインに従い、例会前日にこれを掲載することで、会員が状況を把握できるようにしました。新型コロナウイルスの増加によって、12月と1月には地元地域がほぼ閉鎖され、直接対面式での例会は行いませんでした。

7. 多様性を重視:会員が多様であれば、活力や新しいアイデアがもたらされます。若い世代を引きつけるには、魅力的なプロジェクトを実施するのが一番です。幼い子どもがいる若い会員は、ポリオの予防接種、歳末のクリスマスプレゼント、貧しい国の子どもたちへの無料の心臓手術といった奉仕の大切さを理解しています。

今後のプログラム

8月22日(月) 担当: 職業奉仕委員会

8月29日(月) 担当: 青少年奉仕委員会

9月5日(月) 担当: 60周年実行委員会

9月12日(月) 担当: 雑誌広報委員会

大西会長のテーマ: “ありがとう”の感謝! Enjoy Rotary Life